

パパになれば、産まれた日の写真をつきひつみき キットに飾る。
 そして、1日ごとに数値をカウントアップさせてください。
 それは、こどもが産まれて何日目という成長の記録であり、
 パパになって何日目という記録にもなります。
 誕生日を祝うのは1年に1度。
 でも、つきひつみきがあれば、なんでもない日が
 100日目、111日目、123日目、200日目、222日目、...
 キリ番やゾロ目の日となり、ちょっとウキウキする日に変わります。

27



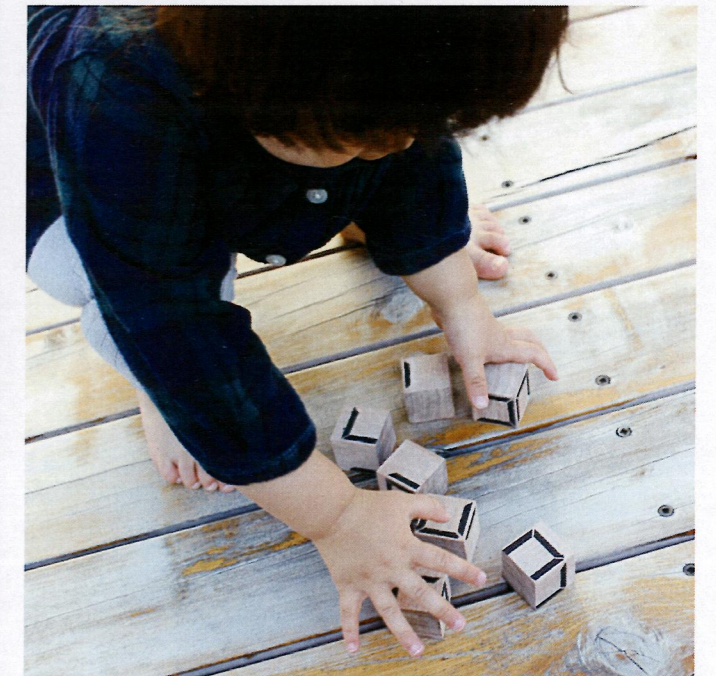
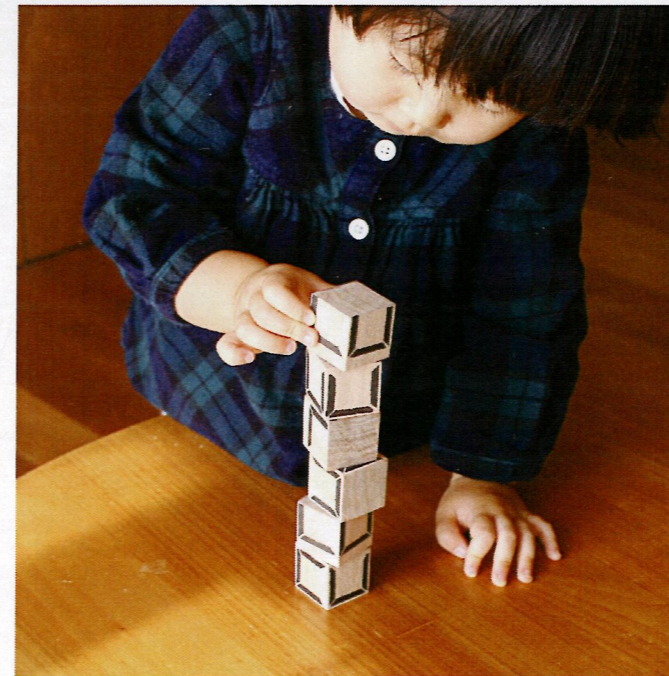
04

「何日に動物園に行こっか」、
 「あと何日すればサンタさんが来てくれるよ」、...。
 子どもとイベントまであと何日?をつきひつみき にセットして、
 1日1日、一緒にカウントダウンしましょう。
 「あと何日で動物園に行くから、絵本でキリンさん見よう」、
 「サンタさん、あと何日で来てくれるから、お手紙書いところ」、
 その日を楽しみに待つ親子の日々に、ワクワクがプラスされます。

つきひつみきは 時の経過をカウントする積み木です

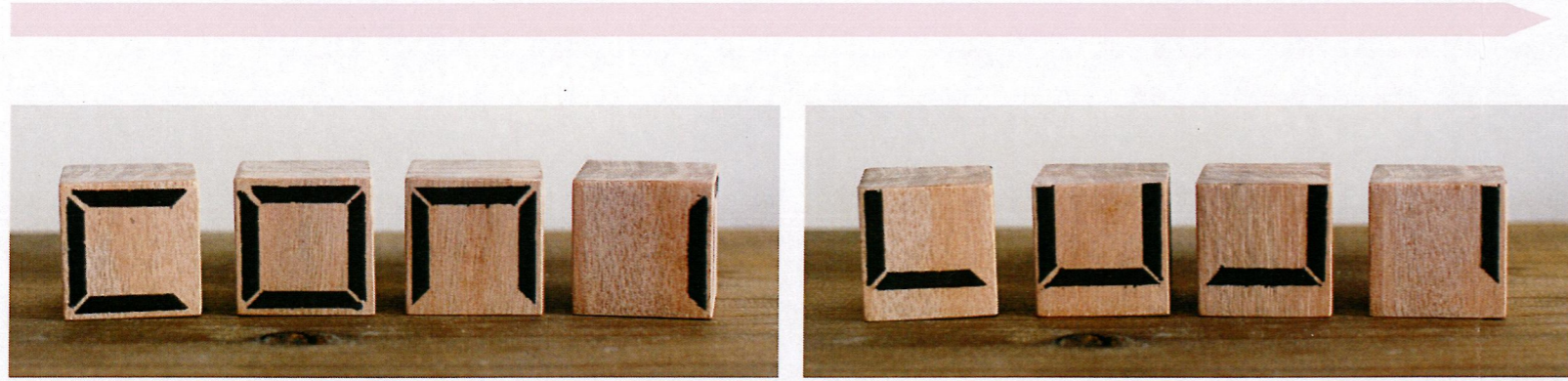


96



90

もちろん積み木としても利用できます。
 暖かみのある無垢材に触れながら、パパと子どもが共に遊ぶ。
 バラバラになった数字が、子どもの発想力で何かに変わるかも。



組み立て方はシンプル。

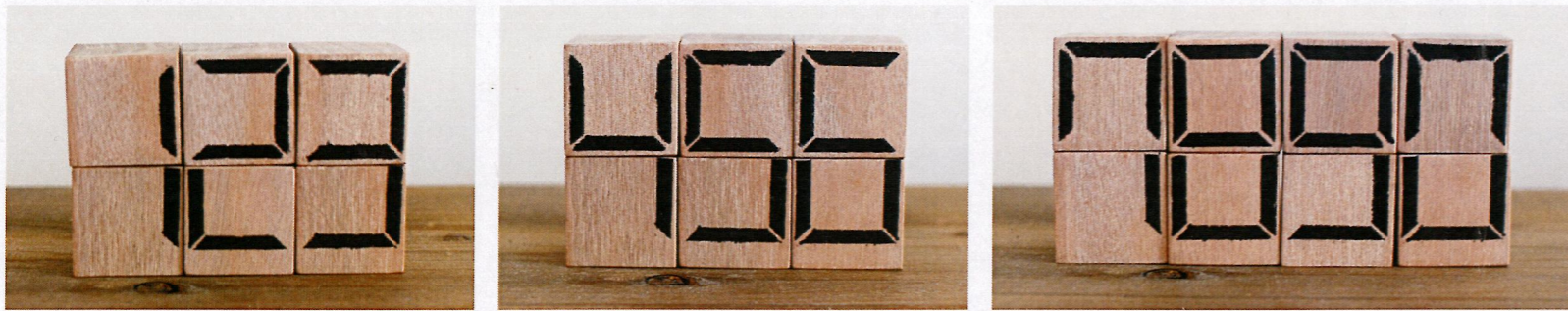
まず、2つのパーツAとBの切り抜き部分を組み合わせ土台を作ります。

そして、その上にデジタル数字パーツを上下に重ねていくだけ。

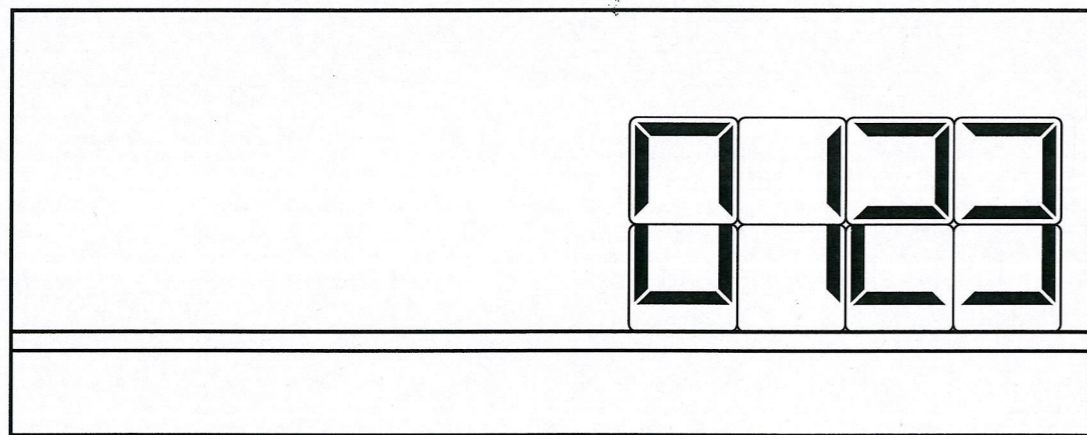
デジタル数字は上下のパーツで構成されます。

上パーツと下パーツを回転させて組み合わせることで

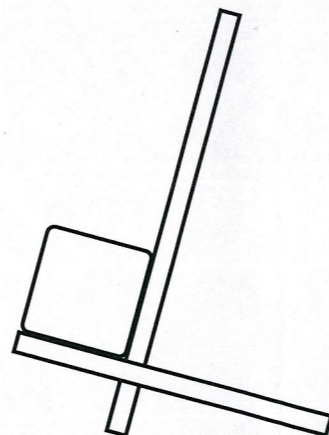
1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 0 の全ての数字を作り出すことが可能です。



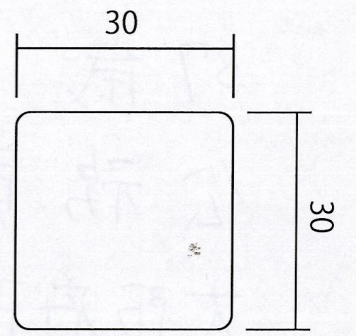
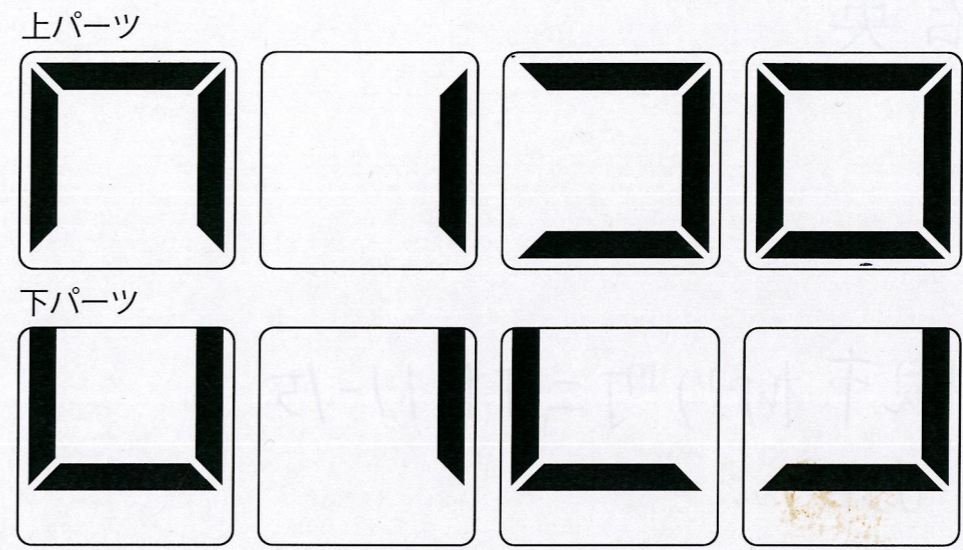
開いたスペースには産まれた時の写真、イベントのフライヤーや人形など、
どの写真を飾ろうか、そのイベントに向けて何を一緒に飾っておこうかなど、
パパはママや子どもと相談しながら、日々作り上げていく。



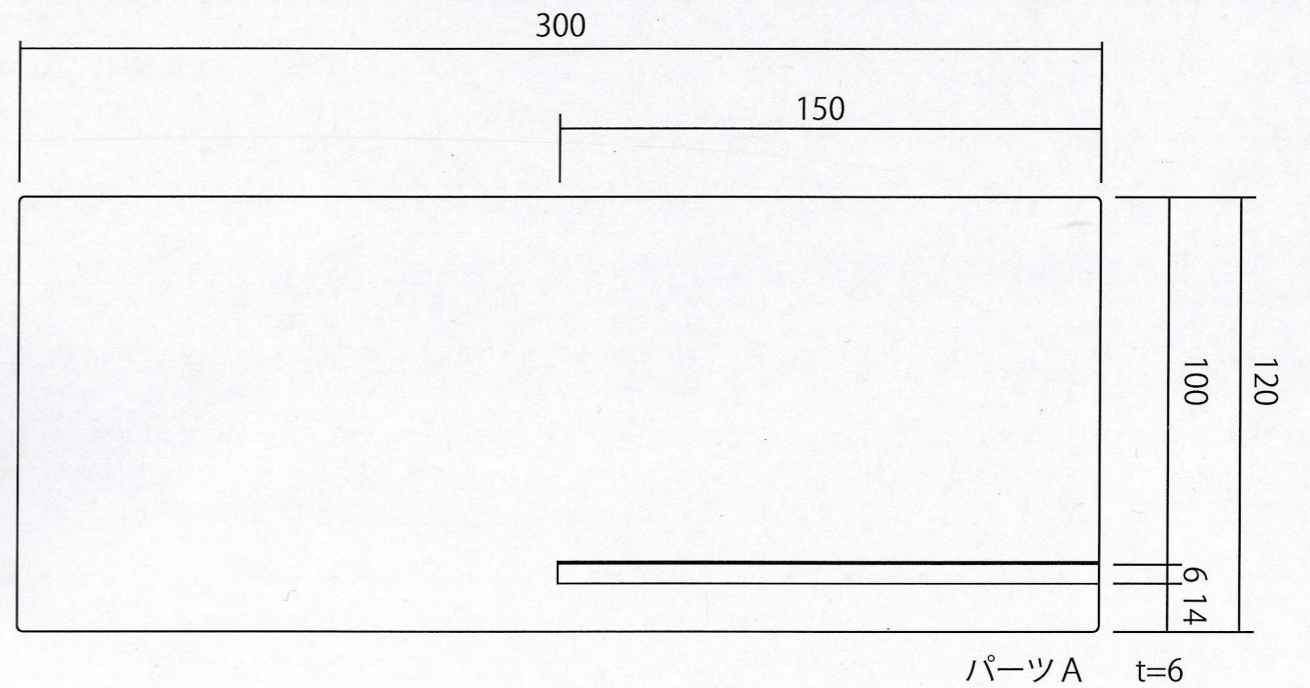
正面図



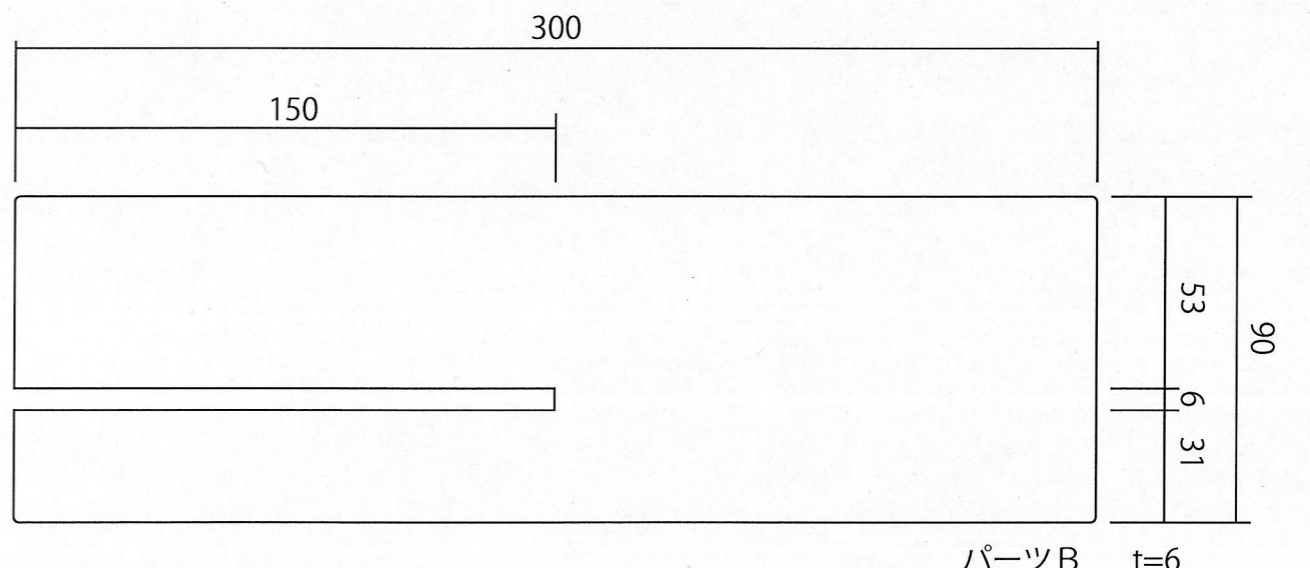
側面図



デジタル数字パーツ



パーツA t=6



パーツB t=6

(単位 mm)